

## Red Blood Cell Elements (赤血球中有害重金属およびミネラル検査)

- 検査前の注意

検査前日の夕食後は何も摂取せず、翌朝空腹(朝食前)の状態ですべて採血下さい。ミネラル含有サプリメントは検体採取72時間前から摂取を控えて下さい。なお、医師がミネラルを摂取している状態での検査を希望の場合はその限りではありません。

採血には、22ゲージ以上の針を使用のうえ採血下さい。

- キットの中身

カリウム EDTA チューブ ..... 2 本

ピペット ..... 1 本

運送用透明チューブ ..... 2 本

吸収性パッド ..... 1 枚

ジップロックバッグ ..... 1 枚

(上記チューブ、ピペット及び吸収性パッドが入っております。)

検査申込書 (INTERNATIONAL REQUISITION FORM) ..... 1 枚

必ず検体と合わせてラボへご発送ください、同梱がなされませんとラボにて分析がなされません。

検体作成手順(本紙) ..... 1 部

Commercial Invoice 2 枚及び Sample Producer/Shipper Declaration 1 枚のセット ..... 1 部

(こちらは検体と共に封筒には同梱頂かず、検体発送時に日本郵便に 1 部(3 枚)提出頂くものとなります。検体発送時 Commercial Invoice には一番下の Date 欄に発送日の日付、Sample Producer/Shipper Declaration には担当医の署名と発送日の日付の記入が必要です。)

EMS 送り状 ..... 1 枚

この他、検体発送用 EMS(国際スピード郵便)封筒をお付けしております。

不足がある場合は、デトックス(Tel: 03-5876-4511)までご連絡ください。

外箱は米国への郵送の為、破棄しないで下さい。

尚、本検査キットには使用期限がございます(検査キット外箱側面に記載)。使用期限内にラボにて分析が可能となりますよう、お使いください。

● 検体の作成手順

- ① 2本のカリウム EDTA チューブに血液を採取下さい。(各々最低5ml)  
採取後10回程度混合させるため上下回転させてください。
- ② 患者名と採取日カリウム EDTA チューブにローマ字で記入下さい。
- ③ 採血後30分以内に最低 1500g's で最低15分間分離器にかけて下さい。
- ④ カリウム EDTA チューブの蓋を開け、ピペットを使用して白い分離層を含めて全血漿を取り除いて捨てて下さい。
- ⑤ 細胞はカリウム EDTA チューブに残し、元のフタをして下さい。  
最低2mlの細胞が検査には必要です。
- ⑥ 申込用紙の検体採取情報欄(右上)に検体採取日を記入して下さい。カリウム EDTA チューブを運送用透明チューブに入れ、蓋を閉めます。そして運送用透明チューブをジップロックバッグに入れます。申込用紙と一緒に元の箱に入れて EMS 封筒に入れ封をし、発送となります。
- ⑦ 発送に際しては、郵便局に直接持ち込むか、集荷を依頼されてください。  
発送時には、検体の入った封筒、Commercial Invoice 2 枚及び Sample Producer/Shipper Declaration 1 枚のセット、EMS 送り状を渡します。送り状は控えをもらえますので、必ず保存してください。  
検体発送時の送料はご負担頂いております、ご了承ください。

(注) 申込用紙には記入漏れの無いよう記入して下さい。

また検体を採取日に発送する事が難しい場合(週末、祝日等)は、発送できるまで冷蔵して下さい。

(注) 検体が凝固していたり、採取に不適切なチューブが使用されていたり、血液が 2mL 以下しか入っていない場合は、検査を行うことが出来ません。また発送前に検体を冷凍しないでください。

※ 検体ができるべく長く凝固しないようにするには？

凝固を防止するために、血液チューブには EDTA もしくは NaK が入っています。

血液がこれらのチューブに採血されたのち、凝固を防ぐために前後に 10 回反転させてください。

そして、その他に注意しなければならないのは、熱を与えないようにしてください。